

# 平成28年度

## 幼保小中の連携状況について（報告）

- ◇中学校ブロック内の取組について 1～11
- ◇中学校ブロック内の交流事業等について 12～40

ブロック名	ページ	
	ブロック 内の取組	交流事業
第一中学校区	1	・ 12-14
第二中学校区	2	・ 15-16
第三中学校区	3	・ 17-18
第四中学校区	4	・ 19-21
第五中学校区	5	・ 22-24
塩田中学校区	6	・ 25-29
第六中学校区	7	・ 30-32
丸子中学校区	8	・ 33-34
丸子北中学校区	9	・ 35-36
菅平中・真田中学校区	10	・ 37-39
依田窪南部中学校区	11	・ 40



上田市教育委員会  
上田市健康こども未来部



## 平成28年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	第一中学校区	構成園校	一中／神川小／東小／聖マリア幼／大屋幼／常田保／東部保／神川第一保／神川第二保／国分保／上田いずみ園		
役員	28年度	会長	第一中学校	副会長	神川第一・第二保育園
	29年度	会長	神川小学校	副会長	国分保育園

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)明るいあいさつが自分から進んで出来る園児児童生徒を目指す。 (2)毎月1回は「ノーメディアデー」としてゲームやネットのスイッチオフを目指す。 特に上記の点を柱に情報交換を密にして取り組む。	以下の通り	◎
取組	(1)あいさつ運動の推進 ・あいさつ旗を作成し、各校各園の門や昇降口を立てて、挨拶への意識向上を図る。 ・家庭通知等の紙面にも挨拶の大切さについて掲載し、各園や各校での取組の理解と啓発を図る。	・あいさつ旗「あいさつだいすき みんなもだいすき」は、子供・保護者へも挨拶への意識づけとしても効果的だった。 ・旗については、状況を見て更新した。 ・各月一回参加している民生委員会でもよびかけ地域との連携を図った。 ・中学校の学校評価においても、「中学生のあいさつが気持ちがいい」という評価をいただいている。連携して取り組んできたことが中学生の姿となってあらわれていると考える。	◎
	(2)ノーメディアデーの推進 ・幼保小中で統一したノーメディアデー(原則:毎月第一木曜日)を設定し、ゲームやテレビのスイッチを切って、親子遊びや読書、手伝い、友達との外遊び、学習をする時間として推奨する。 ・小中では、携帯端末・ネットトラブルの防止について学習や啓発に取り組む。	・あいさつ運動とともに、ノーメディアデーについても紙面で配布した。 ・小学校では、カードを作成し保護者と子供への啓発を図った。 ・保育園では、子供と保護者との関わりを願って家庭でのふれあいを工夫し積極的に取り入れている。 ・中学校では、年曆に記載し呼びかけた。	○
	(3)子供の姿を知るための情報交換や発信 ・毎回の連絡会では授業参観・保育参観を行い子供の姿から学び合った。	・同一ブロックの子供たちの状況や各園各校での取組を知ることは大変有意義だった。子供の育ちや育てたい力を一貫して考え、具体的に取り組む示唆を得る機会となっている。	◎
	(4)幼保小中での連携 ・特色ある取組を紹介し学び合う。 ・連携や交流について相談しあう。	・今年度は、小学校6年生が中学校の文化祭を見学する機会をつくった。 ・中学校の職員が、小学校6年生の授業参観に行く時間を設けた。	◎

※評価      ◎: 目標を上回る達成      ○: 目標どおり      △: 目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月18日	常田保育園	自己紹介、役員・約束事の確認、参観、年間計画の作成、幼保小中連携の取組について計画
2	10月27日	聖マリア幼稚園	参観、各園各校の当面する諸課題について、挨拶運動やノーメディアデーについて
3	1月18日	神川小学校	一学年の参観、幼保小中の連携についてまとめ、来年度の方向

## 平成28年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	第二中学校区		構成園校	第二中/清明小/塩尻小/南部保育園/梅花幼稚園/聖ミカエル保育園/秋和保育園/塩尻保育園		
役員	28年度	会長	第二中学校長 小松 寅雄		副会長	塩尻小学校長 倉澤 克彦
	29年度	会長	塩尻小学校長		副会長	清明小学校長

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)「挨拶」「返事」「靴揃え」を工夫して継続指導し、豊かな心を育てる。 (2)「メディアコントロール週間」を設け、情報が氾濫する社会において、的確な判断力を育てる。 (3)「個が生きる・個を生かす」支援のあり方を、各学校・園において、工夫・研究する。 (4) 幼保小、小中の接続がスムーズにいくよう、幼保小中の交流活動のあり方や内容を工夫する。	以下の取組の成果のとおり	○
取組	(1)「挨拶・返事・靴揃え」 ・各学校・園の実状により年間を通して指導するとともに、地域・家庭へも折に触れ発信する。 (2)「メディアコントロール週間」 ・2回実施(6/27(月)～7/3(日)11/18(金)～11/24(木))	・「挨拶・返事・靴揃え」は、各校・園で呼びかけや掲示を工夫し、着実な成果が見られた。 ・メディアコントロール週間は、幼保小では家庭に呼びかけたり、振り返りを行ったりして、徐々に成果が出ている。中学は形式的になってしまっている。	○
	(3) 多様な個の支援のあり方を視点に、互いの学校や園の活動・授業を参観し合い、意見交換をしながら、個を生かした学力・生活力の向上を図る。(授業・活動参観4回)	・「個が生きる・個を生かす」支援のあり方を視点に、4回の授業・活動参観を行った。本年度は、参観後の意見交換を充実させ、それぞれ日々の指導に生かすことができた。	◎
	(4) 各校で交流活動・体験学習等を計画・実施する。また日頃の情報交換や意見交換を積極的に行い、園児や児童・生徒の理解を深める。	・予定していた交流活動や体験活動は滞りなく実施できた。さらに、新たな活動を工夫したり、それぞれの連携を密にしたりして、子どもの理解を深めたい。	○

※評価      ◎: 目標を上回る達成      ○: 目標どおり      △: 目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月11日	第二中学校	○第二中学校の授業参観・感想 ○年間計画立案 ○幼保小中で共通した取組について ○「子ども中心の日」(メディアコントロール週間)の確認→第一回 6/27(月)～7月3日(日) ○各校・園の情報交換
2	7月13日	塩尻小学校	○塩尻小学校の授業参観・感想 ○幼保小中の連携(挨拶の取組・連携による学力向上事業・要支援園児等)について ○「子ども中心の日」(メディアコントロール週間)の統一実施→第二回 11/18(金)～24日(木) ○各校・園の情報交換
3	10月27日	秋和保育園	○秋和保育園保育参観・感想 ○幼保小中連携(二中祭参加)について ○「子ども中心の日」(メディアコントロール週間)の実施状況確認 ○各校・園の情報交換
4	2月23日	清明小学校	○清明小学校の授業参観・感想 ○本年度の反省及び平成29年度年間計画について ○各校・園の情報交換

## 平成28年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	第三中学校区		構成園校	三中/北小/西小/たちばな幼/上田幼/甘露保/芙蓉保/かんぎおん保/北保	
役員	28年度	会長	西小学校長		副会長 第三中学校長
	29年度	会長	第三中学校長		副会長 北小学校長

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1) 挨拶・声がけをしよう 日常的に「おはよう」「こんにちは」の挨拶を交わし、心を通わせ合いましょう。 (2) メディアコントロールをしよう テレビ・ゲーム等のスイッチを切り、家族団らんや読書、スポーツを楽しみましょう。 ※ 重点項目を三中ブロックで家庭や地域へ同一歩調で呼びかける。	・平成25年度からの継続で、多くの目標に掲げるのではなく、2点に絞って重点的に呼びかけた。実際の取り組みは各学校園の工夫によった。メディアとの関わりは、園児から既に深くなっており、保護者への啓発をより一層強めていく必要があるということが話題となった。外部機関にも協力を求めながら、メディアコントロールを幼保小中で連携して進めていきたい。	○
取組	(1) 各園、学校における共通目標に関わる取組についての情報交換、連携 ① 各校・園の現状と課題について共有し、地域としての課題を確認する。 ② 各校・園の取組の工夫について情報交換し、自校・園の実践に生かす。 ③ 継続的な実践に心掛け、本年度の取組について成果と課題について共有し、来年度の方向性を見出す。	・メディアとの関わりについては、児童生徒の健全育成に関わる重要課題として、今後一層幼保小中が連携して取組を強化していくべき内容であることを再認識した。 ・保護者会や、お便り等を活用し、機会あるごとに呼びかけていくことが有効であるとの意見があり、講演会の講師にメディアコントロールに詳しい方をお呼びしたという取組も紹介された。また、学校評価の項目に取り入れるなどして、保護者自身の振り返りの機会を設けることが有効であるとの報告があった。	○
	(2) 授業参観を通して、児童・生徒理解のあり方、個別支援のあり方について協議する。 ① 実際の子どもの様子を参観し、具体の姿を通して児童・生徒の理解のあり方について協議する。 ② 特別支援学級について参観し、支援計画や他校や園との連携の仕方について協議する。 ③ 各学校園の、配慮を要する子への関わり工夫と、その成果についての情報交換し、自校・園の取組に生かす。	・授業参観を通し、子どもたちの様子だけでなく、掲示や板書など、児童生徒を育てる環境についても話題とし、学ぶことができた。卒園、卒業した園児や児童が、どのような成長を見せているのが個々の育ちを確認することができ、連携の大切さを実感した。特別支援学級の児童の様子を参観できたことも有効であった。 ・配慮を要する子への関わり方から、職員の児童生徒への接し方について話し合うことができた。早い時期から子どもの特性を理解し、その子に適した指導を施していくことの大切さが話題となった。ユニバーサルデザインの授業についても、情報交換がされ、共通認識で指導にあたっていくことが重要であるとの認識を確認した。	○
	(3) その他、行事、施設開放等を通した幼保小中の連携のあり方についての協議、情報交換	・本年度独自に三中から英語科教員を隔月で西小、北小へ派遣していただいたが、このことで小学生が中学校での英語の授業にたいへん期待を持つことができた。また、ALTにも時間的余裕が出たため、西小では1年生からALTと係わった外国語活動を体験することができた。連携の成果である。 ・生活科や総合的な学習の時間に、幼稚園や保育園との交流を行うことで、相手意識に立つことの大切さや人権感覚の育成に成果が上がっているという報告があった。	○

※評価      ◎: 目標を上回る達成      ○: 目標どおり      △: 目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月9日(木)	西小学校	① 授業参観と感想発表 ② 各園・各校の状況や取組について ③ 本年度の連携 重点項目と呼びかけ・取組等について ④ 各園・各校の連携に向けた取組等について
2	12月2日(金)	第三中学校	① 授業参観と感想発表 ② 本年度、「連携の重点」に関わる取組について ③ 各校、各園での現状と取組について
3	2月9日(木)	上田幼稚園	① 保育参観と感想発表 ② 幼保小中連携の取組と反省について ③ 来年度の年間行事の日程調整

## 平成28年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	第四中学校区	構成園校	四中/城下小/南小/みのり保/城下保/下之条保/上田南幼/三好町保		
役員	28年度	会長	第四中学校長	副会長	城下小学校長・上田南幼稚園長
	29年度	会長	城下小学校長	副会長	下之条保育園長・南小学校長

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)幼保小中の接続をどうするか、参観や話し合いを通して、現状を見直していく。 ①支援を必要とする子どもについての連携 ②基本的な生活習慣・生活のリズムの確立における連携 ③幼保小中のスムーズな移行のための取組	①情報を確実に引継ぐこと。 ②職員がお互いの園や学校で参観や実習することで学び、自分の園や学校の保育や指導に生かすこと。 ③交流等で園児・児童・生徒がお互いに関わること	○
取組	(1)参観を通して先生方の子どもたちとの関わりから学ぶ。	①参観や所属長の話から、園や学校で大切にしていることや、子どもとの関わりで配慮していることを学ぶことができ、自園・自校の運営に生かすことができた。 ②発達段階に応じて大事にしていることがわかり、繋げていくことの重要性を確認することができた。 ③職員の保育参観・実習や、小中学校の参観を実施し、自園・自校に還元できるようにしたい。	○
	(2)幼保小中の接続という点からの情報交換と話し合い	①幼保から小、小から中への移行で、十分な引継ぎをしていくことを確認した。担当者が替わったために引継ぎが不十分ということがないようにしていく。 ②近隣の幼稚園・保育園職員が小学校の活動に参加したり交流したりして成果があった事例が紹介された。 ③年長児の職員と小1の職員が学年会を実施した事例が紹介された。 ④現場の先生方が繋がりが持てるように進めていく。 ⑤小中連携は、小中連絡会を中心とした職員の情報交換、小中全職員による「四中区の児童生徒を考える会」(分科会)を実施し成果があった。	○

※評価      ◎:目標を上回る達成      ○:目標どおり      △:目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月20日	真田中央公民館	①自己紹介 ②年間計画立案 ③情報交換
2	11月30日	南小	①保育参観と参観後の感想 ②幼保小中の接続について ・幼保小中の交流    ・移行支援会議等の情報の引継 ③情報交換 ④次回の予定
3	1月17日	上田南幼稚園	①保育参観と参観後の感想 ②幼保小中連携に関わる情報交換 幼稚園運営、あいさつや基本の礼儀作法、施設環境、保護者支援について ③1年間の反省と次年度の計画

## 平成28年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	第五中学校区	構成園校	第五中／豊殿小／神科小／豊殿保／神科第一保／神科第二保／上田北幼／あゆみ保／西丘保		
役員	28年度	会長	神科小学校	副会長	神科第一幼稚園
	29年度	会長	第五中学校	副会長	神科第二保育園

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	《キャリア教育を視点においた五中区の取り組み》 (1)基本的な生活習慣を確立。食育について (2)メディアと上手につき合い家族団らんの充実。 (3)特別な支援の必要な子ども理解。 (4)連携・交流事業。	・各園・校でメディアの使い方や危険性について学習を深めている。子ども・保護者共に認識が高まってきた。 ・PTAと連携し、「朝食をしっかりとろう」と目標を立て活動できた。	○
取組	(1)基本的な生活習慣を確立する。 ・早寝・早起き・朝ご飯の呼びかけ ・挨拶の習慣化 ・食育について	・各園や学校での実態について意見や情報の交換交換ができた。それを元に、現状を考え、五中区だよりとして呼びかけるべきポイントについて決め出すことができた。	○
	(2)メディア教育・情報教育 ・メディアと上手につきあうには ・月に1回のノーメディアデー ・ネット被害防止のための学習 ・親子で向き合う時間(読書) ※家庭向けの共通便りの作成・配布(7月)	・今年の五中区便りは、子どもの成長に見られる心配な点の実態をもとに、食育、遊び、生活、メディアの視点から健全な成長のための提案を行った。	○
	(3)特別な支援の必要な子どもを理解する。 ・園児・児童・生徒の情報交換	・園や学校での参観や意見交換を通して、子どもたちや家庭が抱えている様々な課題を共有しながら、対応について具体的な意見交換ができた。	○
	(4)連携・交流事業を実施する。 ・アプローチカリキュラム(保育園) ・スタートカリキュラム(小学校) ・小中連携(算数授業)体験授業 ・保中連携(花壇交流)	・小中連携では、中学校教員による小5・6年生へ授業を行うことで、中学校教員が小学生を理解したり、小学生の中1ギャップ防止につながりつつある。 ・小中学生が園児と交流することで、いたわりの気持ちが生まれ、優しい声がけや寄り添う姿が見られた。 ・スタートカリキュラムの見直しについても今後話題にしていきたい。	○

※評価      ◎:目標を上回る達成      ○:目標どおり      △:目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月19日(木)	神科小学校	・授業参観・各園・各校の実情と今年度の取組 ・年間計画・情報交換
2	6月20日(月)	真田中央公民館	市校長会と同時開催
3	7月6日(水)	あゆみ保育園	・保育参観 ・各園・各校での今までの取組の成果と課題について ・家庭への配信「五中区だより」の作成と配布計画について
4	11月24日(木)	第五中学校	・諸般の事情により中止
5	2月21日(火)	神科第一保育園	・保育参観 ・今年度の反省と次年度への課題と要望 ・次年度の計画

## 平成28年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名		塩田中学校区		構成園校	塩田中／中塩田小／塩田西小／東塩田小／上田女短附属幼／塩田中央保／塩田北保／西塩田保／東塩田保／おひさまクラブ幼		
役員	28年度	会長	塩田中学校長 海沼 敦		副会長	副会長	塩田西小学校長 茨木 信行
	29年度	会長	未定		副会長	副会長	未定

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1) 幼保小中の職員同士、児童と園児、生徒と児童の具体的な連携の実施 (2) 園児・児童・生徒の理解と育ちの支援に関する情報交換 (3) 幼保小中のキャリア教育についての情報交換	以下の取組の成果のとおり	
取組	(1) 幼保小中の職員同士、児童と園児、生徒と児童の具体的な連携の実施	・夏休みの数日を使って、各校小学校職員が保育園に向いて、実習をさせていただいた。園児とスポーツ、ボール遊び、昼食等を一緒におこなったことで、園児の様子や園の生活のことが知ることができた。 ・各学校で各園とのつながりを密になり拡大会議などが実施できた。 ・中学校での体験授業をしたり、中学の職員が6年生に中学についての話をしたりしたことで、小学生の中学への期待が高まり、中学の職員にとっては6年生の様子をつかむことができた。	○
	(2) 園児・児童・生徒の理解と育ちの支援に関する情報交換 ① 6月20日 校長・園長合同会議で情報交換 ② 10月24日 上田女子短期大学附属幼稚園での参観と情報交換 ③ 1月24日 塩田中学校での参観・情報交換 ④ 夏休み～2月 幼稚園・保育園へ職員参観 ⑤ 9月～2月 来入児で支援を要する園児の保護者との懇談や、園児の入学体験 ⑥ 年間を通して中学校と各小学校との情報交換	・上田女子短期大学附属幼稚園参観では、「うらやまあそび」を通して自然や友だちとかかわりを深めている姿を見せていただいた。各校園の環境を最大限に生かしていくことの必要性を確かめ合った。 ・支援を要する園児や児童の参観や相談の時間を多く取ることで、ていねいな情報交換となった。 ・必要に応じて、就学担当職員及び校長・教頭が保育園や幼稚園を訪問し、来入児の実際の様子を見せていただいたり、懇談をさせていただいたりして情報を得ることができた。保護者にも園児を連れて、小学校生活を体験することで、保護者の不安を和らげることができた。	○
	(3) 幼保小中のキャリア教育についての情報交換 ① 小学校職員による園での参観と実習 ② 中学校職員の保育園における異業種体験	・5月の支会総会で各幼保と各校小1年担任との情報交換会を実施し本年度の活動を確認し合った。 ・職員のキャリア教育の推進として、各学校の教職員が実際に園での実習を行い、園児の姿・気持ちを肌で感じる事ができた。各学校でのこれからの指導に役立てていく実習のため、今後も行い授業改善に努めていきたい。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月20日	真田中央公民館	①本年度の年間予定の確認 ②各園と各学校との情報交換
2	10月24日	上田女子短期大学附属幼稚園	①授業と施設の参観をしての意見・感想 ②各園からの来入児についての情報交換 ③幼保小中の職員、園児、児童、生徒の連携の取組と今後の予定 ④キャリア教育の取組の情報交換
3	1月24日	塩田中	①授業と施設の参観をしての意見・感想 ②各園からの来入児についての情報交換 ③幼保小中の職員、園児、児童、生徒の連携の取組と今後の予定 ④キャリア教育の取組の情報交換



## 平成28年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	第六中学校区	構成園校	第六中/川辺小/川西小/浦里小/日向幼/川辺保/泉田保/浦里保/室賀保		
役員	28年度	会長	浦里小学校長	副会長	
	29年度	会長	日向幼稚園長	副会長	

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)上田市幼保小連携事業の重点となった川辺小学校と川辺保育園を中心に幼保小中の連携のあり方について研究を行う。 (2)互いの校・園の情報交換・交流活動が円滑になるよう工夫し、園児・児童・生徒の個の支援に繋がるようにする	以下の通り	○
取組	1、上田市幼保小連携事業の重点となった川辺小学校と川辺保育園を中心に幼保小中の連携のあり方について ・スタートカリキュラム、アプローチカリキュラムの検討や長野県幼年教育教育課程研究協議会における発表内容について検討する。	・具体的な交流の方向について、検討することができた。スタート・アプローチカリキュラムについて、具体例を元に見直すことができたが、来年度は全ての幼保小が持ち寄り検討することが必要だと感じた。	○
	2、幼保小中、それぞれの場での課題や悩みなどについて、情報交換をし参観等を通して具体的な取り組みについて共通理解をする。	・幼児期の重要性や小学校までに身につけたい力や地域の保護者との連携の仕方について、幼保小中連携して情報交換を密にして行って行く必要性を共有できた。 ・小学校で行っている専門家を活用した体みがき等の運動を保育園のうちから行って行くことが決まったが、まだ実施はできなかった。来年度の課題にしたい。	○
	3、個別支援が必要な子、家庭支援が必要な子への援助や連携のあり方について (1)参観や移行支援会議等を通し、子どもの実態を把握し幼保小中の具体的な取り組みや支援方法について検討し共通理解する。 (2)保護者理解を得るために、個別参観を行い具体例を挙げた情報交換をし保護者の支援や対応について検討する。	特別な支援を要する子について、早期から塩の参観や担任を通して受け入れ準備ができてきている。引き続き確実に行って行く必要がある。 ・それぞれの立場で見た子どもの姿を伝えあう事で子どもの困り感を具体的に共有できた。また、支援の方向や連携のあり方についても実践につながった。	○
	4、職員の交流 (1)保育園職員が小学校へ行き学校生活の体験をする日を設定実施し、小学校職員の保育体験を継続し合う中で互いの職場の現状を知る。 (2)発達段階の違いを、子どもの活動の実体験から学ぶ。	・小学校職員の保育体験、保育園職員の学校体験ではお互いの様子を知り、園でも小でも具体的に活かす事が出来た。 ・就学前担当者が各園を訪問し子どもの活動の様子や支援についての情報を共有することで、入学に向けた学校での準備ができた。	○

※評価      ◎:目標を上回る達成      ○:目標どおり      △:目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	7月6日	川西小	・授業参観、川西小学校の現状と課題 ・スタートカリキュラム、アプローチカリキュラム内容の見合わせと検討事項の話し合い ・各校、園の取り組みと情報交換
2	11月28日	浦里保	・保育参観、浦里保育園の現状と課題 ・職場体験、保育体験、小学校体験の報告、反省と課題検討 ・川辺小・川辺保を中心に、各校、園の取り組みと情報交換
3	1月20日	川辺保	・授業参観、川辺保育園の現状と課題 ・長野県幼年教育教育課程研究協議会における発表内容の検討 ・28度の反省と次年度への課題 ・来入児の情報交換と配慮を要する児童の情報交換

## 平成28年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	丸子中学校区		構成園校	丸子中／丸子中央小／西内小／西望幼／わかさ幼／中丸子保／東内保／西内保／みなみ保		
役員	28年度	会長	西内小学校		副会長	丸子中央小学校
	29年度	会長	丸子中央小学校		副会長	丸子中学校

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1) 授業や活動参観を通して、各発達段階における現状の把握や課題について情報交換を行う。 (2) 園・校内や家庭内での基本的な生活習慣の確立を図る。 (3) 発達障害のある児童生徒への支援方法を探る。	○喫緊の課題として共通理解がもて、児童生徒の様子や生育歴・環境等から、その対応について話し合うことができた。 ○本年度、3回の会合をもった。	○
取組	(1) 共通目標(1)について ①西内保育園児の活動参観から、発達段階における状況や課題を把握する。 ②園から小学校、小学校から中学校への繋がりにおける課題や対応策を検討する。(1回目の園・2回目の小・3回目の中を通して) ③夏休み中に園へ小学校の職員が出向き、参観・体験・情報交換する。	○幼保小中における園や学校課題の共通理解がもてた。 ○幼保小中における児童生徒の発達段階的な様子や課題を、連続して把握し、記録を生かしていきたい。 ○外部機関とも連携して家庭支援を続けたい。	○
	(2) 共通目標(2)について ①幼保小中が連携して「基本的な生活習慣の大切さ」や「家庭生活のあり方」のプリント内容を更に検討し、作成する。 ②夏休み前に上記プリントを配布して、保護者へ啓発を行う。 ③「早寝、早起き、朝ご飯」の継続した呼び掛け。 ④来入児保護者会で、家庭生活のリズムの整えや基本的な生活ができるように依頼する。	○「基本的な生活習慣」を啓発するプリントを配布して呼び掛けた。来年も継続して、家庭の意識を向けていきたい。 ○各家庭では問題意識を持って、目標に向けて実践しようとする姿が見られた。(親の言葉より)今後も継続して啓発していくことが必要である。	○
	(3) 共通目標(3)について ①丸子中学校区の各園・学校の発達障害状況と対応策についての理解を図る。 ②会合の度に指導主事先生や保健師さんにも同席していただき、発達障害の相談窓口等の指導をいただく。 ③支援が必要な児童や家庭について具体的な内容を話し合い、各園・校で参考にする。	○各園・各校とも発達障害と思われる子どもたちの増加状況と対応策についての理解を図ることができた。幼保から小へ、小から中への情報の共有化が大切であることが分かった。 ○障害児の保護者への対応として、発達支援センターや関係機関への相談方法や早期対応の重要性が分かった。 ○子どもへの支援や配慮について具体的に学ぶことができた。	◎

※評価      ◎:目標を上回る達成      ○:目標どおり      △:目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	7月15日 (金)	西内 保育園	・西内保育園の年長児を中心に、活動参観 ・発達障害のある子どもや家庭への支援について ・新入生を迎えるに当たっての幼保小の連携について ・来入児の名簿の確認 ・今後の予定
2	10月17日 (月)	西内 小学校	・西内小学校1年を中心に、全校学年の授業参観 ・学校職員の園訪問について ・「基本的な生活習慣の確立」に向けての呼び掛け文の検討 ・アプローチ、スタートカリキュラムの検討
3	1月30日 (月)	丸子 中学校	・丸子中学校1年生の授業参観と特別支援学級の授業参観 ・発達障害のある園児・児童の小学校及び中学校入学に向けての連携について ・幼保小中を通しての連携について ・本年度の反省と課題、次年度への希望と予定

## 平成28年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	丸子北中学校区		構成園校	丸子北中/丸子北小/塩川小/長瀬保/依田保/塩川保/ちぐさ幼		
役員	28年度	会長	塩川小学校長		副会長	長瀬保育園長
	29年度	会長	丸子北中学校長		副会長	塩川保育園長

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)「思いやり」の芽を大事に育てよう (2)何事も「自分でする」気持ちを持たせよう (3)発達段階に応じて、学習する習慣を身につけさせよう (4)心と心を伝え合う「挨拶」(交わり)を広げよう * 子どもの成長や学びの発達段階に即した指導の接続と連携をもとにして	以下の通り	
取組	(1)地域あいさつ運動等の展開 ①あいさつ運動の継続(月1回の実施) ②保護者向け幼保小中連携会議だよりの発行(10月)	・丸子地区青少年ネットワーク会議の共通理解に基づく「あいさつ運動」を展開している。毎月、第3月曜日が啓発の日であり、小中学校の児童会・生徒会役員や地域の方(分館長さん等)が学校玄関や通学路に立ち、あいさつ運動を展開している。各校児童会・生徒会が主体となり実施している。 ・丸子北中学校区 幼保小中連携会議だよりの「よだがわ」をリニューアルし、各園・学校で保護者へ配布するだけでなく、地域の人に発信をした。	○
	(2)子どもの成長や学びの発達段階に即した指導の接続と連携	・連携会議を各校園で実施し、保育・授業参観を通して園児・児童・生徒理解を図ると共に、その学びの姿から指導の接続や連携のあり方を学び合う。 ・連携会議毎に、後半の時間を使い各校園の連携の状況や児童と園児の交流について情報交換を行う。(詳細は、各校の連絡会にて係が実施)	○
	(3)小中連携の取り組み ①「赤ペン先輩」 ②中学校の先生による、国語の授業	・小学校6年生の学習プリント(家庭学習等)を中学生が赤ペン先輩となって採点、助言をする。小学生にあこがれをもたせたり、中学生の自尊感情を高めたりしながら、小中双方の学力向上をめざしている。 ・中学校の先生が小学校に来校して国語の授業を行う。わかりやすい授業体験を通して、中学校での学習への期待感をもたせている。	○
	(4)具体的な制作物を通して交流の実感を持たせるため、2つの小学校区ごとの園・小・中による合同制作「笑顔のバトン」の取り組み	・色紙片に園では自分の笑顔を、小学校では色を塗った。中学校で色紙片を大きな一つの作品にまとめ(屏風、モビール)、各園、小学校、中学校に巡回で展示した。 ・園、小学校、中学校がつながっていることを実感できる取り組みになった。	◎

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	H28.6.20	真田中央公民館	・前年度の反省と今年度の重点の確認 ・年間計画の作成
2	H28.8.29	塩川保育園	・授業参観 ・会場校の概要やグランドデザイン、現状と課題についての発表・授業参観を通して学び合う。 ・「赤ペン先輩」について協議 ・丸子北中学校区の課題である自己肯定感を高める手だてについての協議 ・「丸子北中学校区幼保小連絡協議会だよりの検討
3	H28.10.20	丸子北中学校	・保育参観 ・会場園の概要や保育の全体像、現状と課題についての発表・保育参観を通して学び合う。 ・年度初めの連携(学校での子どもの受け入れ等)について ・発達障がいの子どもの支援や就学、情報交換について ・共同制作「笑顔でバトン」について協議
4	H28.12.14	丸子北小学校	・授業参観 ・会場校の概要やグランドデザイン、現状と課題についての発表・授業参観を通して学び合う。 ・「笑顔でバトン」の進捗状況と今後について ・来入児と小学校5年生の交流のよさについて ・「就学前児童の導き方」について
5	H29.2.24	ちぐさ幼稚園	・保育参観 ・会場園の概要や保育の全体像、現状と課題についての発表・保育参観を通して学び合う。 ・本年度の反省と来年度の課題。来年度も引き続き実施したいことなど。 ・来年度のブロック会議年間計画及び会場園・校、役員の輪番の確認。 ・来年度の行事(運動会等)の日程の打ち合わせを行う。

## 平成28年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	菅平中・真田中学校区	構成園校	真田中 本原小 長小 菅平小中 そえひ小 真田保 いずみ幼 すがだいら保 そえひ保		
役員	28年度	会長	菅平小中学校長 名取 義仁	副会長	さなだ保育園長 紅林 裕子
	29年度	会長	さなだ保育園長 紅林 裕子	副会長	本原小学校長 砥石 順一

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通 目標	「みんなで育てよう真田っ子を」 ～キャリア教育＝自己肯定感や自己有用感を育み、 スムーズな入学を進めるための連携とそのあり方～	・幼保小中連携を、キャリア教育の視点から捉え、活動や交流を行うことが出来た。	◎
取組	① 各校のアプローチカリキュラムをもとに、幼保との連携の中で重点とする活動内容などの意見交換の実施 ② 各園・各校における学びの連携のあり方 ③ 各園・校における幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 [平成28年度 上田市の幼・保・小連携事業：傍陽小学校とさなだ保育園]	・各校のアプローチカリキュラム計画を持ち寄り、幼保小中連携の中で、子ども達がスムーズに学校に慣れていくよう考えることが出来た。 ・各園・各校で具体的な交流計画を持つことが出来、実施に結びついた。	○
	① 子どもの学習や遊びの様子、活動場所等を参観、懇談することを通して、研修を深める。 ② 小中学校の職員が校区の幼・保への体験実習することにより幼保職員の具体的な支援に学ぶ。 ③ 幼保から小、小から中へ、配慮を要する子どもの支援のあり方について、情報交換を行う。	・それぞれの園や学校での情報交換により、子ども理解について研修が深まった。 ・体験学習から、中学校への抵抗感を薄め、進学への期待感を高めることが出来た。 ・来入児・児童・生徒の情報交換をすることにより、小1・中1ギャップの解消が図られている。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	H28.6.20	真田中央 公民館	・市校長会と同時開催 ・本年度の計画(中学校区・小学校区での学校職員・児童生徒の交流や保育士体験等の打ち合わせ。)
2	H28.9.27	傍陽 小学校	・授業参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校でのアプローチカリキュラムについて ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換
3	H29.1.17	さなだ 保育園	・保育参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 ・今年度の反省と次年度への課題と要望 ・次年度の計画

## 平成28年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	依田窪南部中学校区	構成園校	武石小学校・依田窪南部中学校・武石保育園		
役員	28年度	会長	武石小学校長	副会長	武石保育園長
	29年度	会長	依田窪南部中学校長	副会長	武石保育園長

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰にも挨拶できる武石地域を目指す。</li> <li>・相手を思いやる心を育てよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校、園で挨拶運動に取り組んできている。自ら挨拶する子、声をかけられたら挨拶する子とそれぞれだが、挨拶する子どもたちが増えている。</li> <li>・交流を通して、体験の中で相手の立場を考えたり、理解している。</li> </ul>	○
取組	(1)各校、園で挨拶運動を実施。 ①各校は、保護者アンケート、児童アンケートに「あいさつ」の項目を設置し、振り返ることで挨拶から始まるコミュニケーションを深めるようにした。 ②各校、園で「始まり、終わり」の挨拶をしっかりと行うようにした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中で挨拶ができる子が増え、子どもたちの挨拶が気持ちよいと褒められてきた。</li> <li>・基本的な生活習慣として、身につけられるよう大切に考えていく。</li> </ul>	○
	(2)各校、園との交流 ①武石保育園研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに小中教職員が1日保育園に行って、園児と過ごし、保小中の職員間で情報交換を行っている。</li> </ul> ②小中学校の交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の文化祭見学に6年生全員参加し、中学生から説明を聞く場を設けている。</li> </ul> ③保小の交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校運動会、音楽会への年長組の参加。小学校のプールを体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校、園との交流により、相手のことを考えて行動や接し方を学べた。</li> <li>・「教職員の児童の見方」を振り返る機会となり、子どもの成長に合わせて対応していくことが大切であることを実感できた。</li> <li>・年長組が1・5年生との交流を楽しみ、小学校入学への期待を持ってもらえた。</li> <li>・小中ともに進学にあたっての不安を持っている子どもの対応を行うことができた。子ども・保護者に来校していただき、学校の様子を見てもらったり、相談したりできた。</li> </ul>	○
	(3)メディアコントロールデー実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地区の学校でメディアコントロールデーを実施している。武石保育園でもメディアと接しない日などを決めて、保護者に連絡している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の様子を聞いて取り組みを進めている。さらに、保護者の意識を高めていきたい。</li> </ul>	○

※評価      ◎:目標を上回る達成      ○:目標どおり      △:目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月12日	依田窪南部中	○小中連絡会 ・新1年生授業参観 新1年生の様子について情報交換
2	5月16日	武石小	○保小連絡会 ・新1年生授業参観 新1年生の様子について情報交換 ・来入児の様子について
3	7月28日	武石保育園	○保小中連絡会及び保育園参観 ・保育園児と小中教職員の交流 ・保育園の先生方と小中教職員の話し合い及び情報交換
4	11月7日	依田窪南部中	○小中連絡会 ・6年生の様子 ・中学校説明会に向けて ・特別支援を要する子どもの支援方法
5	1月19日	武石小	○保小連絡会 ・来入児の様子 ・特別支援を要する子どもの支援方法
6	2月16日	依田窪南部中	○小中連絡会 ・小中職員によるクラス分けについて ・情報交換

## 平成28年度 ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第一中学校区
-------	--------

時 期	交流事業名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
通 年	ALT 小学校英語活動支援	一中(ALT) 東小 神川小 5, 6年生	小 中	一中のALTが小学校へ訪問し、英語活動の授業をした。ALT自作のワークシート等を使っての様々なアクティビティを通して、児童に英語に関心を持たせ、コミュニケーションの楽しさを体験させた。
通 年	来入児聞き取り参観	東小教職員 (虹のかけはし職員) 神川小 来入児のいる保育園・幼稚園	保 小	・小学校教職員が、保育園に在籍している外国籍の子の生活や保育の様子を見学し様子を把握する ・発達の気になる子どもの相談
4月6日	入学式	神川小学校 東小学校 一中区各幼保園	保 小	入学式に各園から入学に際してのメッセージをいただく。入学式で紹介すると共に、1年生の教室近くの廊下の壁に掲示する。
5月26日	一中区小中学校 特別支援学級交流会	東小 神川小 第一中学校 (特別支援学級)	小	一中に東小、神川小の特別支援学級児童と職員が来校し、2時間スカイホールで各校が企画したゲームをして楽しんだ。中学生が小学生の世話をしながら、楽しく交流する姿が見られた。来入生の姿を参観できたことで、貴重な情報収集の時間にもなった。
6月4日	運動会(旗拾い)	神川小学校 神川第二保育園	保 小	運動会に参加することを通して、学校の雰囲気を感じたり、4月からの小学校生活に期待を持つことができたのではないかと思います。
6月20日	特別支援学級説明会	一中 東小6年特別支援 学級 神川小特別支援学 級	小 中	各小学校の特別支援学級の児童と保護者が中学校で体験学習。(児童は授業を中学校特別支援学級生徒と受ける。保護者は学校長の話を聞き授業参観)安心感が生まれる。
7月17日	プール交流	神川小 国分保育園 神川第二保育園	保 小	二つの園の年長児が神川小学校のプールで1年生と交流した。(水遊び)広いプールでのびのび遊び、学校のプールの雰囲気を味わいながら水遊びに自信が持てるようになった。
7月～3月	来入児聞き取り参観	神川小 入学予定の幼保園	保 小	幼稚園・保育園と連絡をとり、就学前教育係、特別支援コーディネーターが分担して、園児の様子を参観したり、園の先生から話を聞いて実態を把握した。配慮が必要な園児の集団生活も見ってもらうことで、入学受け入れに生かすことができた。
7月29日～31日	保 育 研 修	神川小職員 国分保育園 神川第二保育園 西丘保育園	保 小	小学校職員6名が保育研修を行い、園での生活の様子を体験するとともに、職員と懇談することで配慮点などについて研修することができた。

時 期	交流事業名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
8月3日～5日	保 育 研 修	東小職員 東部保育園 常田保育園 甘露保育園	保 小	東小教職員10名が、東部保育園、常田保育園、甘露保育園の年長と年中クラスに分かれ、保育実習をした。実習を通し、幼児に対する接し方など就学前の指導法のコツを知ることができた。
9月2日	風車拾い事前リハーサル	東小学校 甘露保育園 東部保育園	保 小	運動会前日に、準備が整っている会場で風車拾いのリハーサルをした。見通しのもてないことに強い不安を感じる子どもたちへの支援として有効であったと思われる。
9月6日	保護者説明会	神川小	幼 保 小	園児の保護者への説明会
9月23日	松輝祭を小6生参観	一中 東小6年生 神川小6年生	小 中	松輝祭を参観する。
9月～10月	運動会参観	東小 神川小の 校長・教頭	小	東小 神川小の校長・教頭が保育園や幼稚園の運動会の様子を参観し、個別の対応が必要な子どもなどの様子を把握する。
10月14日	特別支援学級説明	一中 東小、神川小(5年生、学級担任)	小 中	各小学校の5年生の特別支援学級の児童と保護者が中学校で体験学習。(児童は授業を中学校特別支援学級生徒と受ける。保護者は学校長の話聞き授業参観)中学校での見通しが持て、安心感が生まれる。
10月25日	保護者説明会	神川小	幼 保 小	園児の保護者への説明会
11月9日	児童と年長児の交流	神川小 大屋幼稚園(年長)	幼 小	年長児が神川小学校の学校探検を行う。また、1年生との交流をすることによって、入学後の生活について知ることができ小学校への期待感を高められた。また、1年生にとっても年上としてしっかりした行動が見られるなど、良い交流ができた。
12月	中学生との交流	一中2年生 国分保育園	保 中	家庭科の実習として、一中の2年生全クラスを順番に1クラスごと受け入れ園児との交流を行った。中学生が玩具を作り、遊びの進行を行った。両者ともに良い表情で楽しい時間を過ごすことができた。
12月6日	特別支援学級説明会	一中 東小6年特別支援学級 神川小特別支援学級	小 中	各小学校の特別支援学級の児童と保護者が中学校で体験学習。(児童は授業を中学校特別支援学級生徒と受ける。)

時 期	交流事業名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
1月21日	新入学予定者体験授業	一中(1年生) 東 小、神川小(6年生、学級 担任)	小 中	中学校の先生が6年生に国語、社会、理科、英語を小学校のクラス毎、50分授業で教えた。6年生は中学校の授業の雰囲気を感じられ、小中の接続に大変有効であったと思う。
2月17日	生徒と園児の交流	一中 国分保育園	保 中	特別支援学級生徒が国分保育園児と交流活動を行う。
2月21日	保護者説明会	神川小	幼 保 小	園児の保護者への説明会
2月28日	1年生と交流会	神川小 神川第二保育園 国分保育園	小 保	入学前に1年生と交流。校内探索をした。顔見知りになれたので安心して入学準備ができる。1年生の学習が見れたので勉強することの雰囲気を感じられた。
3学期	一中職員が小6生の授業 参観	一中職員(新入生受け入 れ担当職員)東小、神川 小	小 中	児童理解や学級編制に役立てた。



## 平成28年度 ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第二中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	成 果 と 課 題
5月11日(水) 7月13日(水) 10月27日(木) 2月23日(木)	授業参観・保育参観 幼保小中の連絡会	塩尻保・聖ミカエル保・南部保・秋和保・梅花幼・塩尻小・清明小・二中	幼保 各校・園の取組の様子や特徴、先生方の思いに触れることができ、安心感と刺激を受けた。
			小 お互いの様子を知ることは、とても有意義であった。
			中 参観後の意見交換がとても充実し、日々の指導を見返すことができた。
6月4日(土) 10月1日(土)	各小学校運動会招待	各幼稚園・各保育園の年長園児 各小学校職員・児童	幼保 園児参加種目への参加が出来た。入学することに対する期待感がもてた。
			小 「風車拾い」に参加してもらった。児童の様子・動きが直にわかり良かった。
6月23日(木)	中学校授業参観	塩尻小学校・清明小学校の各6年生が二中へ	小 全学級の授業を自由参観。中学の授業や生活について、実際に参観できてよかった。1学期中に参観できることは大変ありがたい。今後、1学期中の体験授業について検討したい。
			中 中学生にとっても良い刺激となり、また、児童の目線からの厳しい指摘はありがたい。
9月23日(金)	二中祭見学	清明小学校、塩尻小学校の各6年生が二中へ	小 ステージ発表を参観し、中学校の雰囲気を実感した。中1ギャップの解消につながるとともに、中学への期待感が膨らんだ。
5月～2月	なかよし集会・全校交流会	聖ミカエル保育園・梅花幼稚園・上田幼稚園の年長園児 清明小5年児童 塩尻保・秋和保と塩尻小1年5年児童	幼保 校内を歩いたり、小学生と触れ合ったりしたことで、子ども達の不安が取りのぞかれ、楽しみに入学を待つ気持ちになれた。
			小 幼保との交流は、豊かな心を育むのにとっても良い。どのくらいの回数が適切なのか検討していきたい。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	成 果 と 課 題	
10月21日(金)	小学校音楽会招待	塩尻保育園・秋和保育園 (年長・職員) 塩尻小学校(児童・職員)	保	事前に伺わせていただいたが、来年は自分たちもあのような姿になるというあこがれと期待がもて、良い経験だった。
			小	音楽会リハーサルの様子を保育園児に参観してもらった。良い刺激になった。
1月26日(木)	中学校説明会・体験授業	塩尻小学校・清明小学校 (6年) 二中	小	中学校の授業を体験させていただき、中学進学への大きなステップとなった。中学入学に向けて、意識を高揚することができた。
			中	児童・保護者に安心して入学してもらえるような機会にしたいと考えている。二中1年生にとっても、大きな成長が期待できる貴重な場となっている。
通年	小中連携による学力向上推進事業(中学校の教員による算数、外国語活動の授業支援)	算数 塩尻小、清明小6年各クラス (3時間/2週) 外国語活動 塩尻小5・6年、清明小6年 各クラス(1時間/1週) 二中職員2名(数学科・英語科)	小	本年度より、塩尻小、清明小の両校で、算数と外国語活動の小中連携事業を実施することになった。通年で、中学校の先生の授業を直に受けることは、大きな意義があり、継続させていきたい。
			中	中学校の教員が小学校で授業を行うことにより、学力の向上や中1ギャップの解消に成果が上がっている。小学校の先生方にも中学生の支援をしていただくような場を検討したい。

## 平成28年度 ブロック内の交流事業等について

ブロック名		第三中学校区	
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
通年	小学校への三中英語科 教員派遣による外国語 活動の授業実施	・三中と北小6年 ・三中と西小6年	小 児童にとっては、専門性の高い中学校の英語科の先生から、学ぶことによって、中学校の英語学習に慣れると共に、興味をもって学習に取り組むことができた。
			中 中学校教員にとっては、小学校での外国語活動の実態を知ることができ、小学校と中学校で連続した英語学習を考えることができた。また、授業を通して、小学生の普段の様子を見ることができ、新入生の様子を知る大きな手がかりとなった。中学校に知っている先生がいるということで中一ギャップ対策にもなる。
2月7日	小学生の中学校での授 業体験(参観・体験)	・三中職員と北小6年 ・三中職員と西小6年	小 中学校の先生の授業を参観することにより、進学にあたっての安心感と期待感が高まった。
			中 1月に予定していた授業体験は、インフルエンザ流行のため、本年度は中止したが、授業を参観することを通して、アンケートには「中学の様子がよくわかった」と答える児童が多かった。中学校の職員にとっても、4月に入学してくる児童の実際の姿を知ることができ、受け入れにあたっての貴重な場となった。
8月25日	三中ブロック不登校対策 委員会	三中、北小、西小職員	小 不登校についての情報交換の他、小中連携のあり方についても考えることができた。
			中 小中の不登校の現状についての情報交換とその対応について話題にし、これまでと今後の連携のあり方についてともに考え合うことができた。
9月23日	中学校文化祭への招待	三中と北小、西小の6年	小 文化祭のステージ発表や校内展示の見学を通して、中学校の学習の様子に触れ、中学校に向かう心構えをもつことができた。特に、意見発表の堂々とした姿が心に残ったようである。
			中 一日目の意見文発表会と英語スピーチを聴いてもらうことを通して、先輩としての自覚を新たにすることができた。生徒が運営する生徒会活動に触れ、中学生の思っていることや考え方を理解してもらうことができた。
11月16日	三中ブロック人権同和教育 研修会	三中、北小、西小、たちばな幼、上田幼、甘露保、芙蓉保、かんぎおん保、北保	小 三中で行われた、2年と3年の道徳の授業を参観し、研究会で指導や支援のあり方について学び合うことができた。
			中 三中で、2年と3年の道徳の授業を公開し、研究会で指導や支援のあり方について学び合うことができた。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
通年	三中所属のALTを小学校に派遣	西小(5, 7, 9, 11, 1, 3月) 北小(4, 6, 8, 10, 12, 2月)	小	ネイティブの英語をALTから学ぶことによって、子どもたちは本物の外国語を知ることができた。また、担任といっしょに複数で指導することで、効果的な学習を行うこともできた。本年度は、5年6年以外でもALTに外国語活動の授業を行ってもらうことができ、低学年のうちから外国語に親しむことができた。担任とALTとの打ち合わせ時間が十分に持てないことが課題である。
			中	中学校のALTが小学校の子どもの様子を知ることで、進学してくる児童の英語基礎力を把握し、中学校での英語科学習で取り入れるべき指導内容を検討することができた。
5,7,10,11月	職員による相互授業参観(小中連絡会、学校へ行こう週間)	・三中与北小 ・三中与西小	小	卒業した子どもの様子や中学校の授業の実際を見ることができて有意義だった。
			中	学校開放日に、職員が学校や生徒の様子を自由に参観した。中学校としては次年度入学してくる6年生児童の姿を直に観察できる大切な機会であった。
7月～8月	園児による学校施設利用(北斗の広場・小プール)	たちばな幼稚園・甘露保育園・芙蓉保育園・北保育園	小	来年度入学してくる園児の姿を直に見ることができ、入学後の指導のあり方に生かすことができた。
			幼保	小学校に対する不安を解消し、学校生活への期待感を高めることができた。
8月～2月	職員による幼保参観	・各園と北小 ・各園と西小	小	来入児係、特別支援学級の担任、特別支援教育コーディネーターが、園児の様子を参観し、来入児の具体的な情報を収集し、就学に向けての方向性を確認することができた。
			幼保	年長児のクラスを参観してもらい、年長組担任と懇談をした。特に配慮を必要とする園児の様子や方法について伝達することができた。
夏休み中	北小・西小職員により幼稚園保育園参観体験実習	西小職員 北保育園 上田幼稚園	小	保育環境や園児・保育士さんの対応等を観察したり、実際に体験実習をさせていただいたりし、幼年教育について理解を深めることができた。
			保	年長児クラスを中心に入って交流をしていただいた。園児の実態や年長児の就学に向けての情報交換ができた。
7月～2月	園児との交流	・北保育園と西小2年生 ・上田幼稚園と西小1年生 ・芙蓉保育園、保育園かんぎおんと西小4年生	小	体育館での遊びや校内巡りを通して交流を図った。小学1年生は、先輩として園児に優しく接する姿が見られ、兄姉としての自覚の芽生えが感じられた。小学2年生は、相手意識を持って遊びやゲーム企画を考えたり、発表練習をしたりして、1年生のときよりも、積極的な交流を行うことができた。また、4年生は、総合的な学習の時間を使って、学習のねらいにそった幅広い学習活動を展開し、コミュニケーション能力や発表力を高めることができた。
			幼保	小学生との交流を通して、活動の楽しさを味わうとともに小学生のお兄さんお姉さんぶりを感ずることができた。また、4月からの学校生活への期待感を高めることができた。
7月	中学生の保育体験実習	・三中2年 ・芙蓉保育園児	中	2年生の家庭科学習の一環として、保育体験実習を行った。小さい子どもたちを相手にすることはたいへんだったが、園児たちに頼られ喜んでもらったことは生徒たちにとっても貴重な体験となった。
			保	中学生のお兄さんお姉さんといっしょに遊んだり体を動かしたりすることをとても楽しんでいった。よい交流になった。

## 平成28年度 ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第四中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
通年	中学校の先生による数学・英語の授業	第四中学校 南小学校 城下小学校	中	次年度入学する6年生についての情報を得ることができた。
			小	算数ではない数学、英語を教わることにより教科性の高い学習への関心を高めることができた。また、教わった先生と中学入学時に出会うことで、ギャップがなくなる。
6月4日	来入児の運動会参加	南小学校 城下小学校 来入児在籍園	小	高学年児童が次年度に入学する1年生のことを思いながら道具を作ったり、当日実際に案内したりすることで、高学年としての責任感を感じたり、自分の成長を感じることができた。
			幼保	半年後の小学校入学への期待を持つことができた。
6月20日 10月6日～7日	小学6年生の中学校体験授業	城下小 6/20 南小 10/6、7	小	中学校の先生の授業を体験し、中学校の授業へのイメージを持ち入学への期待感と心構えを持つことに役立った。
			中	小学生が学習に向かう様子を知ることができた。
6月27日	みのり保育園と児童会福祉委員会交流	児童会福祉交流委員会 みのり保育園年長組	保	お兄さんお姉さんと一緒に遊ぶことを通して小学校とのギャップを少なくし、入学への期待感をもつことができた。
			小	年長さんに楽しんでもらえる交流会になるように計画したり実行することを通して、相手のことを考えて行動することの大切さを感じ取った。
7月5日～6日	保育園での職業体験学習	第四中学校2年生(希望者) 保育園	中	保育体験を通して、保育士の仕事の大変さとやりがいを知ることができ、職業選択の上で貴重な体験となった。
8月2日～ 8月3日	城下保育園と城下小学校職員の交流	城下小学校新任職員 城下保育園職員	保	小学校の先生方に保育園実習をしていただき、保育園についての理解を一層深めていただき有り難かった。
			小	保育園実習を通して保育園児の様子や保育園の生活を感じ取ることが出来た。さらに、保護者との連携を実際の場面で見ることができよかった。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
8月17日18日19日 8月22日23日	城下保育園児の小学校 プール利用	城下保育園年長組 城下小学校	保	小学校のプールを利用することで学校の施設や雰囲気になれることができた。
11月	中学2年生による保育実習	第四中学校2年生 三好町保育園	中	家庭科の授業で保育実習を行い、園児と触れ合うことにより保育について知ることができた。保育士の仕事や話から、保育について学ぶことができた。園児と接する中で自己有用感を得ることができた。
12月7日 12月13日	上田南幼稚園児による 授業参観・交流会	城下小学校1年 12/7 南小学校1年 12/13 上田南幼稚園年長組	保	学校の施設やチャイムで動く様子を感じ取ることが出来た。 一年生の授業を参観することで、入学への期待感をもつことができた。
			小	南小学校に来てもらい、年長さんに伝わるように国語の学習などを発表した。また、体育館で一緒に遊んだりすることを通して、年長さんとの交流を一層深めることができた、城下小学校に来てもらい、年長さんに伝わるように国語の学習などを発表した。一緒に遊んだりすることを通して、年長さんとの交流を深めることができた。
12月16日 1月19日 1月20日 に予定したが、 本年はインフルエンザ流行により中止	三好町保育園児・城下保育園児による授業参観・交流会	城下小学校1年 三好町園児・城下保育園児年長組	保	
			小	城下小学校に来てもらい、年長さんに学校の様子を知ってもらおうと、学習の様子をまとめ発表の準備練習をした。
1月20日	中学1年生による中学校説明会	第四中学校1年生 南小学校6年生 城下小学校6年生	中	中学校生活の基本について、あらかじめ伝え、心の準備をさせることができた。
			小	中学校生活について、中学校の先生・生徒から直接話を聞いたり、短時間体験させてもらうことで、入学への不安を少なくし、期待をもつことができた。
1月27日に予定したが、本年はインフルエンザ流行により中止	来入見1日入学	来年度入学予定者 城下小学校1年生	保	
			小	入学を予定している園児さんのことを考え、プレゼントを用意した。
1月17日 3月7日	みのり保育園児による授業参観と学校見学	来年度入学予定者 みのり保育園 1/17 下之条保育園 3/7 南小学校1年生	保	学校の施設の様子を感じ取ることが出来た。 一年生の授業を参観することで、入学への期待感をもつことができた。
			小	入学を予定している園児さんの参観をうけて一生懸命学習している様子を見てもらった。もうすぐ進級して一つ下の学年の手本になろうと自覚が高まった。

時 期	交 流 事 業 名	対 象 園 校 名 (学 年、組 等)	内 容 と 成 果	
2月27日	城下保育園児による授業参観と学校見学	城下保育園児年長組全員 城下小学校1年生	保	小学校の施設の様子を感じ取ることが出来た。一年生の授業を参観することで、入学への期待感をもつことができた。
			小	入学を予定している園児さんの参観をうけて一生懸命学習している様子を見てもらった。もうすぐ進級して一つ下の学年の手本になろうと自覚が高まった。

## 平成28年度 ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第五中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
通 年	小中連携教員配置授業	豊殿小・神科小(6年算数) 第五中(数学科)	小 中学校数学の教師が、小学校6年の算数の授業を行った。中学校で一番初めに行う、ノートの取り方を教えてもらい、小6の段階で、中学校のノートの取り方をマスターできた。小中継続した指導は、子どもが中学校生活に対する不安感を軽減させた。また、中学校の先生が指導したノートの取り方で、5・6年担任が授業を行うようになった。中 I ギャップ解消、学力向上に向けた取組を行うことができた。
			中 来年度入学してくる児童の様子をつかむことができた。
春・秋・冬	お散歩	神科第1保・第2保 豊殿小・神科小	保 お散歩だけでなく、時々お世話になっている。春は桜の花を見たり、校庭では草花で遊んだりした。時には、学校行事の見学も行った。
			小 花や池を見に行ったり、一緒に花を摘んだり鬼ごっこをしたりして楽しい時間を過ごした。
4月～5月	スタートカリキュラム	神科第1保 神科小 豊殿保 豊殿小	保 週に1回～月に2回、園長・保育士が、1年生の登校支援を行った。また、園長・保育士が1年生の指導と生活の様子を参観し、その後情報交換をした。
			小 スタートカリキュラムに沿って、幼保のリズムから、小学校のリズムにつなげていく活動をすすめた。▼始業前、1年生昇降口で、新1年生を保育園の先生が挨拶と出迎えをしていただいた。新1年生が新しい環境に安心感を持って適応することができた。
5月13日	保育園の先生による1年生の授業参観と懇談会	豊殿小	小 授業参観や懇談会により、卒園させた子どもたちの様子を情報交換している。実際に小学生になった子どもの様子から半紙をすることができている。
5月～7月	保育園の先生による1年生の授業参観	豊殿保 豊殿小	保 保育園の先生が授業や給食の様子を参観し、気がついたことについて情報交換を行った。
			小 保育園の先生が授業や給食の様子を参観する中で、一人ひとりの困り感に寄り添い、小学校教員にアドバイスをいただいた。
6月14日	歩道の花壇作り	神科第二保 五中2年生	保 年齢の離れたお兄さん、お姉さんと楽しく活動できた。
			中 自然な形で、保育園児に寄り添うよう気持ちが生まれた。



時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
6月17日	小学校音楽会	豊殿小・西丘保・上田北幼 神科第1保・第2保  豊殿小・神科小	幼保	長い時間の参加は難しいので、前半のみ参加した。座席もあり落ち着いて聞くことができた。小学校のすてきな歌声や合奏が聴くことができた。▼1年生の歌と合奏の発表を聴いた。(幼)
			小	来年度入学してくる保育園児に小学校の音楽会を見学してもらい学校の様子を知ってもらうことができた。
7月～8月	小学校プールでの体験・交流	豊殿保・神科第1保・第2保 豊殿小・神科小	幼	低学年用プールを利用させてもらった。大きなプールに喜び、水温も高く、のびのびと遊ぶことができ、泳ぎも上達した。1年生との交流もできた。
			小	小学校のプールで年長児と5年生、年中児と4年生で交流している。年中児との交流は今年度からスタート。小学校の子どもたちにとってお兄さんお姉さんとしての自覚が少しずつ芽生えてきている。業間休みを中心に低学年プールを開放した。大きなプールを体験したり、小学生との交流を行ったりすることができた。
8月 夏休み	小学校の教員による用意園保育園職場体験	豊殿保・北幼 豊殿小	幼保	それぞれの年齢に1人～2人ずつ入って、子どもたちと触れ合った。学校の授業と違った生活や遊びが中心の子どもたちの様子を参観してもらい、幼・保育園の様子を知ってもらうことができた。
			小	保育の現場を体験して、学校の授業と違った体験ができた。子ども観・指導法を学ぶことができた。
9月23日	中学校文化祭見学	豊殿小・神科小(6年) 第五中	小	6年生が文化祭を訪問し、教室展示やステージ発表を見学した。中学校生活の一端を見学し、来年からの中学校生活に関心と意欲をもつことができた。
			中	文化祭に招待し、ステージ発表や教室展示を見学してもらった。中学校生活への意欲付けができた。
10月8日	小学校運動会	豊殿保・神科第1保・第2保・西丘保・あゆみ保・北幼他 豊殿小・神科小	幼保	風車拾いで運動会に参加する。楽しみながら風車を拾う姿が見られた。
			小	来年度入学してくる年長さんを運動会に招待して、風車ひろいに出していただく。来年度入学する期待感を膨らめることができた。
10月20日～22日	中学校職場体験学習	神科第1・第2・西丘・あゆみ ・豊殿保 神科小・豊殿小 五中(2年生の一部)	幼保	園の職員と園児との関わりの様子を実際に教室に入って、園の仕事を体験してもらった。
			小中	児童指導等、小学校教員を体験してもらった。体験を希望する職場で体験させていただき、将来の自分の進路について考える機会を与えていただいた。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
11月1日	年長児と5年生の交流会	神科第一保・第二保・上田北幼 神科小【5年】	幼保	年長児と5年の交流で、小学校の様子を教えてもらったり、学校内を案内してもらったり、絵本をよんでもらったりと親しみがもてた。
			小	来入児と5年生が交流する中で、思いやりの気持ちを持ったり、6年生になる自覚をもつことに繋がった。
11月	小1との交流	上田北幼 神科第一保 第二保 神科小(1年)	幼保	年長児が、1年生のとなりで、国語や算数の授業を体験し、入学への期待がふくらんだ。
12月	小学校参観	神科第1・神科小 豊殿保・豊殿小	保	園外保育に合わせて、小学校の様子を見せていただいた。授業の様子がつかめた。小学生との交流ができた。
			小	1年生の学校生活の一部を年長児に見ていただいた。
1月	年長児と5年生の交流	豊殿保 豊殿小	保	小学校5年生とかかわる中で、小学校に希望を持って入学する気持ちをつくることにつながった。
			小	来入児と5年生が交流する中で、思いやりの気持ちを持ったり、6年生になる自覚をもつことに繋がった。
1月	幼保小連絡会	豊殿保・神科第1保・第2保・西丘保・あゆみ保・北幼他 豊殿小・神科小	幼保	幼保小連絡会のあと、具体的に支援の必要な子どもの情報交換により、実際に小学校職員が、幼保育園に出向き、子どもたちの様子を参観し、支援の方向を探った。
2月	中学生保育実習(家庭科)	神科第一保 第五中(2年生)	保	中学生と園児との保育活動を通して交流をさせていただいた。
			中	中学生が各園を訪問し、教職員の勤務や園児とのかかわりの様子等について体験を通して学習できた。▼
2月16日	中学校での体験授業 新入生説明会	神科小・豊殿小 五中	小	中学校生活の様子(授業・先輩からの話・生徒会)を見せていただき、中学校進学にむけての心構えがもてた。
			中	6年生が中学校に来て、中学校の授業を体験し、不安を解消し入学を楽しみにしてもらう▼4月より入学してくる6年生に中学校生活について理解してもらうために、授業公開やルーム長会等による学校生活の説明会及び保護者説明会を行った。
2月	中学校教員の小学校参観	豊殿小・神科小(6年) 五中(1学年)	小	中学校の先生方に小学校での様子を見ていただき、中学校進学に向かう取り組みについての情報交換ができた。
			中	小学校の授業や生活の様子、給食や清掃の取り組みの様子などを参観し、情報交換ができた。
3月	小学校へのアプローチカリキュラム	豊殿・神科第1第2・西丘 ・あゆみ保・豊殿小・神科小	小	個人的に不安を抱える子どもに事前に来校してもらい環境に慣れてもらった。

## 平成28年度 ブロック内の交流事業等について

ブロック名	塩田中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
5月2日	塩田地区学校職員会総会 1学年会	東塩田小・中塩田小・塩田西小1学年担任 塩田北保・塩田中央保・東塩田保・西塩田保・上田女短附属幼年長組担任	小 塩田地区の1年担任と保育園・幼稚園担任とで共通話題で1年間進める。
			幼保 小学校入学当初の学校生活の様子がわかり、今後の園での指導に役立てる。
	塩田地区学校職員会総会 6学年会	各小学校6学年担任 塩田中1年担任	小 中学1年生の生活を知ること、塩田地区の6年担任と中学校担任が小中連携を視野に入れて1年間進める。
			中
6月4日	運動会における来入児種目参加の補助 運動会への招待(塩田西小)	塩田西小4～6年生 入学予定園児	小 小学生として自覚を持って園児に係わることができた。 園児の様子がわかり、幼稚園保育園との情報交換に役立てることができた。
			幼保 学校長の話、上級生の姿、たくさんの方の応援やカラフルなかざぐるまで、かざぐるま拾いを楽しみ、入学への期待が膨らんだ。
6月4日	東塩田小学校 運動会への招待(東塩田小)	幼稚園・保育園の年長組園児 小学校全校児童	小 来入児種目の補助を通して、上級生としての自覚ある活動ができた。
			幼 来入児種目を楽しみ、学校長の話や上級生の姿を通して、入学への期待が膨らんだ。 東塩田保育園は、事前に来校し、実際に校庭で練習した。
6月14日	音楽会練習見学(中塩田小)	中塩田小1学年 塩田中央保育園	小 来入児が、1学年の音楽練習を見学し、来年度の学校行事(音楽会)の見通しをもった。
			保
7月	東塩田小プール開放	東塩田保育園児	保 例年小学校のプールを使って水遊びを楽しんでいる。今年も数日予定していたが、雨天や猛暑のため中止となった。
夏期	塩田西小のプール開放	西塩田保育園児	保 広いプールで思い切り水遊びができた

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
7月28日～ 8月4日	小学校に入学する地区・ 近隣園への職員の参観 と情報交換(塩田西小)	西塩田保・塩田中央保・塩 田北保・他幼保泉田保・お ひさまクラブ幼・塩田西小 就学前係、特支コーデ イナー	小	入学予定園児の園での様子を具体的に参観し、困り感のある園児への支援や今後の支援の 方向を共通理解することができた。
			幼 保	児童の様子を具体的に見ていただき、児童への理解と支援のあり方の共通理解が図れた。
7月29日	中塩田小職員・保育園の 参観実習(中塩田小)	中塩田小職員・塩田中央 保	小	夏休みを利用して小学校職員が半日、参観だけでなくプール実習などをさせていただいた。
			保	
8月5日	東塩田小職員・保育園の 参観実習(東塩田小)	東塩田小職員・東塩田保	小	夏休みを利用して小学校職員が半日、参観だけでなくプール実習、給食指導を含めた保育体 験などをさせていただいた。
8月22日	東塩田小職員による幼 稚園・保育園の参観(東 塩田小)	東塩田小職員・東塩田保 上田女短附属幼稚園	小	入学する児童の園での様子を参観し、学級編制の参考にしたり、新年度の指導方針について 資料作りの参考にできた。
7月下旬～ 11月中旬	小学校に入学する地区・ 近隣園への職員の参観 と情報交換(中塩田小)	塩田北保・塩田中央保・附属 幼・上田南幼・他幼保・中塩田 小来入児係	小	入学予定園児の園での様子を具体的に参観し、共通理解を深めることができた。 事前相談を必要とする児童について早めに機会を持つことができた。
			保	
9月23日	塩田中文化祭見学(東塩 田小)	東塩田小6年	小	中学校の文化祭を見学し、卒業に向けての気持ちをあらたにすると共に、中学入学に期待を 持つことができた。
10月2日	各小学校 運動会への招待(中塩田 小)	幼稚園・保育園の年長組 園児 各小学校全校児童	小	運動会で拾うものを作り、プレゼント。 来入児種目の補助を通して、上級生としての自覚ある活動ができた。
			幼	
10月5日	就学前健康診断(東塩田 小)	入学予定園児	保	健康診断を通して、自分の体の調子を知るとともに、健康な体で入学を迎えようとする気持ち を持つことができた。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
10月12日	就学前健康診断・就学前検査(中塩田小)	各小学校入学予定の園児	小	健康診断を通して、自分の体の調子を知るとともに、健康な体で入学を迎えようとする気持ちを持つことができた。園児を検査会場まで案内したり、待機している時のかかわりを通して、上級生としての自覚を高めることができた。
			保	
10月19日	音楽会招待(塩田西小)	塩田西小全児童 入学予定園児	小	学校として来入児を招待することで、特に1年生は近くに園児がいることで年上を意識して頑張る演奏に取り組んだ。
			保	保育園より大きな音楽会を目の当たりにすることで、小学校への期待を持つことができた。
10月21日	音楽会招待(東塩田小)	東塩田小全校児童 入学予定園児	小	来年入学する園児たちと初めての顔合わせになり、低学年にとっては改めて自分より下の園児を意識するようになった。
			保	東塩田保育園年長児は事前に2回来校して練習し、ステージ発表をすることができた。
11月2日	塩田支会人権同和教育 授業公開と授業研修会 (塩田支会各学校)	塩田地区小中学校教員	小 中	塩田西小学校の1・4・5学年の授業を公開し、実際に授業を参観した後、子どもの様子や授業についての意見交換を行った。
11月11日	就学前検査(塩田西小)	入学予定園児 塩田西小5年児童	小	園児を検査会場まで案内したり、待機している時のかかわりを通して、上級生としての自覚を高めることができた。 支援の必要な児童の様子を具体的に知ることができた。
			幼 保	園児にとっては緊張の時間であったが、上級生が優しく案内をしてくれたおかげで、入学を迎える気持ちを高めることができた。
11月18日	入学するみんなを招待しよう(東塩田小)	東塩田小入学予定者全員 東塩田小1年児童	小	体育館でゲームをしたり、1年生の教室で一緒に楽しんだり、プレゼントを作ったりすることを通して、年下の子の面倒を見る、2年生になるという意識が高まった。
			保	1年生と仲良くしたり教室の様子を知ったりすることにより入学に対する不安を和らげ、期待感を高めることができた。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
11月22日	就学前検査(東塩田小)	入学予定園児 小学校6年児童	小	園児を検査会場まで案内したり、待機している時のかわりを通して、上級生としての自覚を高めることができた。 支援の必要な児童の様子を具体的に知ることができた。
			幼保	園児にとっては緊張の時間であったが、上級生が優しく案内してくれたおかげで、入学を迎える気持ちを高めることができた。
春・夏・秋期	塩田西小への散歩(塩田西小)	西塩田保園児	保	広い校庭を散歩したり、滑り台などの遊具で遊び、小学校を身近に感じることができた。
12月～	来入児学校見学・学校体験(塩田西小)	西塩田保・塩田中央保・泉田保・おひさまクラブ幼・塩田西小来入児係、特支コーディネーター	小	入学までと入学後の支援の方向を確認することができた。
			幼保	安心して、入学の準備を進めることができた。
11月30日 12月2日	中塩田小1年と来入児との交流会(中塩田小)	塩田北保・塩田中央保・上田女短附属幼年長組園児・他の入園予定の希望園児・中塩田小1年児童	小	1年生飼育のヤギ「ムートン」の紹介、えさやり体験、散歩、かけっこを一緒に行い、交流を深めた。1年生からムートンの写真をプレゼントした。
			幼保	
12月24日	来入児関係者会議(中塩田小)	中塩田小職員 病院関係者 保健師 幼稚園	小	関係者が一堂に会し、児童にとってより望ましい学校生活や家庭生活のあり方について、方向を探ることができた。
			幼保	
7月上旬～ 2月下旬	小学校 来入児参観・情報交換(中塩田小)	中塩田小学校職員1年 特別支援Co 入学予定園児がいる幼稚園・保育園	小	学校参観に来てもらったり、児童と交流をしたりして、より具体的に園児の様子を把握したり聞き取りしたりして、具体的な園児の様子を把握することができた。
			保	

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
1月27日	中学校体験授業	東塩田小6年児童 塩田地区外の校の塩田中 中学校入学予定者 *塩田西小はインフルエン ザ対応で参加取り止め	小 中	中学校教員による体験授業に支会2小学校6年生児童が参加し保護者は参観した。(国・数・社・理・音・美・保体) 集中して授業に取り組む6年生児童の姿が見られた。中学校の授業等への不安が減り、学習への興味関心を高め、中学校生活への期待を膨らめ、見通しを持った。また、参加児童は、残りの小学校生活を一層充実させたいという願いを持った。
2月9日	塩田西小1年と来入児との交流会(塩田西小)	入学予定園児 塩田西小1年児童	小 保	学校を案内や交流を通して、お互いが仲良くなれ、来入児の入学を楽しみにしていた。 学校案内をしてもらうことで学校の様子がわかり、入学への期待を膨らませ、不安が軽減された。
2月22日	東塩田小職員による保育園の参観(東塩田小)	東塩田小職員・東塩田保育園	小	入学する児童の園での様子を参観し、学級編制の参考にしたり、新年度の指導方針について資料作りの参考にできた。
2月24日	中学校「中学校ガイダンス」(塩田西小)	塩田西小6年児童	小 中	「何のために学習するのか」中学校へ進学する6年生に向けて、中学生になる心構えや小学校と中学校での授業の違いや共通点などを聞き、自分を変えていく気持ちを高められた。 中学校の研究主任と教頭が小学校に出向き、インフルエンザ対応のため中学校説明会の参加を取り止めた塩田西小6年児童に、中学校の学習(持ち物、授業の進め方、家庭学習の取り組み方、春休みの学習課題等)や生徒会活動、行事、部活動について説明した。児童は中学校進学への期待を見通しを持った。
1 / 2月に複数回	中学進学に向けての学校見学・移行支援会議	塩田西小教員 塩田中教員	小	学校見学を通して、児童は入学に対する安心感と期待感を持つことができた。 小学校教員から中学校教員へ、中学進学に向けて配慮の必要な児童についての丁寧な引き継ぎができた。
2 / 3月に複数回	中学進学に向けての移行支援会議	東塩田小教員・塩田中教員	小	小学校教員から中学校教員へ、中学進学に向けて配慮の必要な児童についての丁寧な引き継ぎができた。
3月	学習ガイダンス	東塩田小・中塩田小6年全児童	小 中	中学校の研究主任が小学校に出向き、中学校の学習(持ち物、授業の進め方、家庭学習の取り組み方、春休みの学習課題等)について説明した。児童は、先に実施した出前授業と合わせて中学進学への期待と見通しを持った。
年間を通して	各小学校 来入児参観(発達相談)・ 情報交換	中塩田小学校幼保小係 特別支援教育Co	小 幼保	発達相談を受けたり、園児の様子を参観し、来年度の望ましい学校生活や家庭生活のあり方について、方向を探ることができた。
年間を通して	中塩田小 盈進池やヤギ小屋周辺	塩田北保・塩田中央保育園	児	遠足や散歩で盈進池やヤギ小屋に立ち寄り、自然を満喫することができていた。

## 平成28年度 ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第六中学校区
-------	--------

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	と 成 果
5月	幼保小連絡会	各幼稚園:保育園 小学校(1年生)	幼保	・授業参観をし、入学後の現状を把握したうえで1年生の担任と話し合うことができ、情報の共有と入学前に取り組むべき内容の把握ができた。
			小	・授業参観、就学前年間計画の説明、児童についての懇談 ・本年度入学児童への理解を深め合う。
5月	小中連絡会	小学校3校:第六中学校	小中	・中学1年生の授業参観、入学生徒についての懇談。 ・入学生についての理解を深める。
5月8月1月	小中連携会議	六中区小中学校職員	小中	・小中学生の現状について情報交換を行う
6月	音楽会参加	浦里保育園(年長児) 浦里小学校(全校)	保	・音楽会前半に参加し、小学生の発表を聴く。保育園でも1ステージ用意し歌を披露する。小学校という場を見たり感じたりし、小学校に慣れる機会になる。
7月	保小交流会、夏祭り招待	浦里保育園(年長児) 浦里小学校(1年生)	小	・保育園の夏祭り後、1年生が来園し夏祭りに行ったものを利用し、一緒に遊び交流を深める。
			保	・1年生が来園することで、小学校を身近に感じ期待を持って活動する事ができた。
7月～8月:10月	保育職員の小学校体験	浦里保育園:浦里小学校 室賀保育園:川西小学校	保	・保育士が小学校生活を体験する事で、小学校生活の様子や学習の様子を学ぶことができ、その後の保育に活かす事ができた。
			小	・年長クラス担任が1年生の生活を半日体験する。 ・教科学習の進め方、小学校の生活について理解を深め児童の成長の様子を知る機会となった。
7月22日・7月23日	職場体験	第六中学校:各保育園	中	・保育園や小学校で職業体験することで、職業理解を深め、働くことの意義や喜び、難しさ等多くのことを学んだ。
7月	部活動参観	各小学校:第六中学校	小中	・部活動の参観を通して、入学後の生活について期待と関心を高めることができた。
7月～8月	保育体験:幼稚園参観	各小学校=各保育園幼稚園	小	・就学前係、未体験の小学校職員が保育体験を行う。 ・園児たちがどこまで活動ができるかを知る事が出来有益である。 ・園児の生活の様子や現状を知ることができた。また、配慮の必要な園児について早期に情報交換する事ができた。



時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
7 月 ~ 8 月	プール体験、解放	川辺小学校1川辺保育園 浦里小学校:浦里保育園 川西小学校:室賀保育園	小	・小学校のプールを利用し、小学校の体育施設に慣れる。小学校のプールに慣れ水に親しむ事ができた。 ・小学生と交流しながら、小学校のプールに慣れる機会となった。
9 月	六中区交流遠足	小中の特別支援学級 児童、生徒、保護者、担任	小中	・保護者、担任同伴でバス遠足に行く。児童生徒、保護者同士の交流や情報交換ができた。
10 月	小学校運動会	各園の年長児 各小学校	幼保	・入学予定小学校の運動会の来入児種目に参加し、小学校への期待や関心を持つ事ができた。
			小	・高学年児童が風車を作り、係児童が世話をし、来入児を温かく見守ることができた。
10 月	文化祭見学、中学校参観	各小学校:第六中学校	小中	・中学校の学習活動の様子を理解することができた。
11 月	小中連絡会	各小学校:第六中学校	小中	・6年生の様子について情報交換を行うことで、中学校でのよりきめの細かい指導に役立てる。 ・中一ギャップの解消に向けて情報交換を行う。
8 月 ~ 12 月	発達障がいにおける理解と支援についての講話	各小学校	小	・各校の特別支援担当の職員や他校の専門家による発達障がいの理解と支援のあり方について、来入児保護者会で講話を持ち、理解を深めることができた。
11 月 ~ 12 月	就学前相談、懇談、見学	室賀保育園 川辺保育園 泉田保育園 川西小学校 川辺小学校	保	・発達気になる子と保護者、担任、園長が小学校見学や相談の場を設けていただいたり体験授業をする。 ・児童の理解とスムーズな移行への良い機会となった。
			小	・小学校の生活を知り、入学後の生活に見通しを持つ事ができる。 ・参観や懇談等を繰り返すことで、保護者も不安を解消することができた。
11 月 ~ 2 月	来入児1日入学・交流会	室賀保:川辺小、川西小 浦里保:浦里小	小	・児童と園児の交流ができ、子ども同士が関わり合う中で学びあうことも大きく充実した交流となった。
12 月 ~ 1 月	保育園実習	第六中学校=泉田保育園	中	・中学生が保育園へ出掛け幼児と一緒に過ごす。普段関わる事の少ない幼児との接し方など不安は多いが関わることで気持ちが穏やかになり、中学生にとって良い経験となった。
12 月 ~ 2 月	幼稚園、保育園参観	幼稚園:保育園 各小学校	小中	・配慮を要する園児について、参観や懇談を通して理解を深める。 ・園児の実態を把握し、入学後の指導の方向を考える上で有効。
1 月	中学校授業参観=説明会	小学校6年生=第六中学校	小中	・中学の授業を参観し、中学校への期待を持つと共に不安を取り除く。 ・中学校の学習の進め方、内容について理解出来た。 ・入学予定生徒の実態を見、入学後の指導の方向を決める上で有効。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
1 月 ~ 3 月	移行支援会議:学校見学	小6の配慮の必要な児童	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮を要する児童の支援会議を行い、入学後の支援の方向を検討した。</li> <li>・見学を繰り返すことで、不安を軽減できた。</li> </ul>

## 平成28年度 ブロック内の交流事業等について

ブロック名	丸子中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
4月～12月	青少年ネットワーク会議	丸子中央小・西内小・丸子中・丸子修学館高	小 中 小中高の児童会生徒会の役員が、年に4回の会合を行い交流する。学校の計画により、国道254号線にて、あいさつ運動と交通安全の呼びかけを行う。1回は西内保育園児も参加した。 今年度は挨拶運動を丸子中央小と丸子中合同で4回実施した。他との交流を通して、自分たちの生徒会活動について振り返ったり、新しいアイデアを取り入れたりすることができた。地域の中心になって、活動する自覚とリーダーとしての意識を育てる。
6月	音楽会への招待	西内小・西内保育園	保 小学校をより身近に感じ、ともに音楽を楽しむ。
7～8月	プール開放	中丸子・東内・みなみ・わかくさ・西内の各幼保園児と小学生	幼 保 小学校をより身近に感じ、施設の使い方にも慣れることができた。
			小 夏期休業中、行間休みにプールを開放した。園児に挨拶をしたり、自分も園時代にプールを利用したことを思い出したりすることで、交流できたとともに、自分の成長を感じることができた。
8月	職員研修(小→幼保)	丸子中央小・学区内各園 西内小・西内保育園	小 幼稚園・保育園の現場を体験して、子どもへの理解が深まった。園児への支援や子どもの成長段階を実際に見たことが、小学校での児童支援を考えることにつながった。
9月	中学生の幼稚園訪問	わかくさ幼稚園・丸子中学校	中 家庭科の保育の授業の一環として、中学2年生がクラスごと1回訪問し、幼児と遊んだ。幼児の特徴を知り、関わり方を学ぶことができた。
9月	小学生の文化祭見学	丸子中央小6年生・丸子中学校	小 中学校の文化祭を見学することを通して、中学校生活の様子を知るとともに、入学への期待を持つ。
10月	運動会での交流	丸子中央小・学区内各園の来入児 西内小・西内保育園の来入児	幼 保 楽しみながら風車を拾うことができた。学校行事に参加し、小学校へ入学する意識が高まった。
10月・1月	来入児と5年生との交流	丸子中央小入学予定来入児・丸子中央小5年	幼 保 5年生と一緒に遊んだり学校を知ることを通して、入学への期待を膨らめることができた。
			小 学校探検や工作、絵本を読むなど園児との交流を通して、思いやりの気持ちを持ち、6年生になる自覚を持つことにつながった。

時 期	交 流 事 業 名	対 象 園 校 名 (学 年、組 等)	内 容 と 成 果	
11月	中学校体験授業 (6年生が中学校で)	西内小・丸子中央小・丸子中	小	中学校で授業を受けたり、中学校生活の様子のお話を聞いたりすることを通して、入学への期待や準備に向けた意識を持つ。教科の専門性を知る。
			中	児童の様子をもとに、今後の入学に向けた準備に生かす。
12月	遊びの交流(年長児と1年生)	西内小・西内保育園年長児	保	小学校をより身近に感じ、ともに陶芸製作を楽しむことで、入学への期待を高める。
			小	年長児と1年生がともに陶芸製作をすることで、顔見知りになり、次年度入学後にスムーズな関わりが期待できる。
1月・2月	そり遊び交流 (園児と1・2年生で)	西内小・西内保育園	保	小学生とともにそり遊びを楽しむことで、交流を深め小学校を身近に感じる。
			小	西内保育園のそりゲレンデで、保育園児と一緒にそり遊びを楽しみ交流を深める。
3月	年長児の特別支援学級 入級体験	中丸子保育園年長児と特別支援学級児童	保	小学校の特別支援学級を知ることで、入学後の生活の見通しを持つことができた。
			小	来入児一人一人の子どもの理解をすすめることができ、入学後の指導に生かせるようにした。

## 平成28年度 ブロック内の交流事業等について

ブロック名	丸子北中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
毎月第3月曜日	地域あいさつデイ	丸子北小・塩川小 丸子北中	小 中学生代表との玄関でのあいさつ活動を通してあいさつの大切さを学んだ。
			中 小学生へのあいさつ活動を通して、先輩としての自覚が生まれると共に、あいさつを広げ地域に目を向けることができた。
通年	交流打ち合わせ、交流会(歌・ゲーム)、保育士の小給食準備参観、音楽会参観、運動会事前交流・運動会参加	塩川小(1・5年) 塩川保育園・ちぐさ幼稚園(年長) 塩川小(全職員)	小 保育園の子どもたちに見てもらうことで小学生としての自覚が生まれると共に、次年度に向けた新6年生と新1年生との関係づくりへの機会となった。
			保 小学校へ入学し成長した姿を見ることで目標が生まれよい刺激になると共に、顔見知りの6年生がいることで安心して入学する気持ちが生まれた。
通年	赤ペン先輩	丸子北中 塩川小 丸子北小	小 小学生は学習プリントに添削をしてもらうことで、中学校・中学生にあこがれを持ち、学力向上につなげることができた。
			中 中学生は、添削をすることで、自尊感情を高めながら小学校の学習の見直しをすることができた。
6月	音楽会の練習参観	丸子北小(1年) 長瀬保育園・依田保育園(年長)	小 保育園の後輩達に見てもらうことで小学生としての自覚が生まれた。
			保 小学校へ入学し成長した姿を見ることで目標が生まれ、よい刺激になった。
5月	奉仕デー (保育園周辺の草取り)	丸子北小(6年) 長瀬保育園・依田保育園	小 地域の美化を通し、環境や福祉への関心を高めた。
			保 小学生の活動への感謝の心が持てた。
5月	家庭科「ふれあい保育実習」	依田保育園 長瀬保育園	保 お兄さんお姉さんと遊んだり、触れ合ったりすることにより、人と関わり合うことの楽しさを味わうことができた。
		丸子北中(2年全)	中 園児との触れ合いを通し、心身の発達に応じた生活の仕方を理解し、幼い子どもに対する関心を深めることができた。
8月	プール交流	丸子北小・塩川小 長瀬保育園・依田保育園 塩川保育園・ちぐさ幼稚園	保 小学校のプールを借りて水遊びを楽しむことができた。広く大きなプールで子どもたちは自信をつけ、大きく成長することができた。また、小学生と交流することで、小学校への期待が高まった。
8月1日・8日	保育参観・体験	丸子北小(全職員)	小 子ども理解と幼年教育を体験を通して学ぶことができた。保育士の園児への実際の支援のあり方を小学校職員が学ぶことにより、小学生への支援の見返しを行うことができた。発達障がいのある子どもへの指導に参考になる点が多かった。
		長瀬保育園・依田保育園	保 保育参観を通して、日々の指導の振り返りができた。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
8月1日	保育参観・体験	塩川小学校 塩川保育園 ちぐさ幼稚園	小	子ども理解と幼年教育を体験を通して学ぶことができた。保育士の園児への実際の支援のあり方を小学校職員が学ぶことにより、小学生への支援の見返しを行うことができた。発達障がいのある子どもへの指導に参考になる点が多かった。
			保	小学校の先生方の指導に学ぶ。将来の姿を想定し、今の実践を振り返ることができた。
7月19日・ 20日(2年)	職場体験学習	依田・長瀬・塩川・中丸子・東内保育園	保	お兄さんお姉さんと遊んだり、触れ合ったりすることにより、関わり合うことの楽しさを味わえた。
		ちぐさ幼稚園	幼	お兄さんお姉さんと遊んだり、触れ合ったりすることにより、関わり合うことの楽しさを味わえた。
		塩川小	小	中学生との触れ合いを通し、中学生とのつながりを身近に感じることができた。
		丸子北中	中	生徒が自分の関わる園児を決め、その触れ合いを深める中で、園児の対応の大変さや保育士の仕事内容の一端を知ることができた。
9月23日 9月24日	秋桜祭招待	丸子北小、塩川小(保護者同伴で休日参加)	小	中学校の文化祭を見学することを通して、中学校入学への不安を解消し、中学生になる意欲を高めることができた。
		丸子北中	中	自分たちの活動や展示を小学生に見てもらうことにより、来年度入学してくる下級生に対しての親近感と先輩としての自覚が持てた。
10月～	笑顔のバトン	全幼保小中	保	色紙片に園では自分の笑顔を描き、小学校では色を塗った。中学校で色紙片を大きな一つの作品にまとめ、保育園・幼稚園・小学校・中学校に展示した。園・小学校・中学校がつながっていることを実感できる取り組みになった。
			小	
			中	
9月2日	特別支援学級交流遠足	丸子北小特別支援学級 塩川小特別支援学級 丸子北中特別支援学級	小	作品展の鑑賞と遠足を通しての人間関係の拡大がはかれた。
			中	小学生との交流を通し指導性の伸長がはかれた。
12月 7日 12月 8日	中学校授業体験学習	丸子北中 丸子北小 塩川小	小	美術科・社会科について授業体験をすると共に、各部活動の見学をした。
			中	体験授業を提供することによって、中学校生活に対する意識の自覚と高揚がはかれた。
1月～2月	園児の授業・給食参観	丸子北小 長瀬保育園 依田保育園	保	給食参観では、どんなメニュー、どのくらいの量なのかを興味深く参観していた。授業参観をした園児は、園に戻って学校ごっこを楽しんでいた。
			小	園児が参観に来ると言うことで、お兄さんお姉さんらしさを見せようと張り切って学習や当番活動に取り組んだ。

## 平成28年度ブロック内の交流事業等について

時 期	交 流 事 業 名	対 象 園 校 名 (学 年、組 等)	内 容	成 果
5月16日	小中学校連合教科会	長小 傍陽小 本原小 真田中 菅平小中	中	・教科指導における課題や工夫点を話し合った。
7月	学芸会・交流会 音楽会・夏まつり	すがだいら保年長及び全園児 そえひ保育園年長児・い ずみ幼年長	幼保	・小学校から保育園に来園し、音楽会の発表を見せてもらったり、学校の様子を教えてもらったり、運動やゲーム・遊びなどの活動をしたりして交流をした。園児の小学校への期待が持てた。 ・小学校の音楽会に年長さんを中心として園児達が招待され、小学校の音楽を鑑賞した。小学校入学への期待を高めることができた。
		菅平小・傍陽小	小	・小学校での音楽学習の学びの成果を3月まで生活した保育園で発表する機会をもらい、小学1年生がはりきって音楽に取り組むことができた。 ・1・2年生がそえひ保育園のお祭りに招待いただき、園児と交流しながら活動を楽しむことができた。
8月24日	プール交流 野菜の収穫	本原小1年生とさなだ保・ いずみ幼年長	幼	・面倒を見てもらったりプールで遊んでもらったりと楽しく交流することができ、親近感を持つことができた。
7月 11月	体験入学	長小・本原小・傍陽小の6 年	中	・6年生が中学校に来て交流会や体験授業・部活見学を行った。中学校進学への期待と意欲を高める機会となった。
7月 8月	交流活動・プール遊び	すがだいら保年長・いず み幼年長・本原小	幼保	・小学校のプールで遊ぶ予定だったが、天候のため体育館で集団遊びを行い、園児・小学生ともに楽しく活動した。 ・小学校でつくったマリーゴールドのプランターを園に配ったり、礼状を届けたりなど、様々な形態で交流した。 ・保育園児が広々とした小学校のプールで1年生と楽しく遊ぶことが出来ていた。保育園のプールとの違いを満喫した。
		長小1年・いずみ幼稚園	小	・飼育しているウサギを譲ったり譲られたり、飼育方法を伝えながらの交流で学校とのつながりが深まった。「命のリレー」の体験ができた。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
7月 8月	小中学校職員 保育体験研修	すがだいら保・さなだ保 そえひ保・いずみ幼	幼 保	・小中の職員が各園の各クラスに入り、子どもたちと活動を共にして関わり、子どもたちの様子を知る機会となった。就学前の子どもたちの様子や保育士の接し方を知り参考になったと言う感想があった。絵本の読み聞かせ・製作手伝い・ゲームなどを通して、園児達が小中の職員に親しみを持つことができた。
		菅平小中・長小・傍陽小・ 本原小	小	・保育士の園児への接し方について学び、各教師が小中での子どもとの接し方について振り返ることができた。
8月1日	真田地区学校職員会前 期 人権・地域研修	真田地区幼保小中職員	中	・上田市城南公民館長 矢澤智都枝先生の情報モラル講演会と、菅平自然館と湿原探索し歴史と自然について学び、見識を深めた。
6月 9月 10月	運動会	すがだいら保・さなだ保 そえひ保・いずみ幼・他園 来入児	幼 保	・来入児(年長)が小学校の運動会の様子を見るとともに、来入児種目に参加した。
		菅平小中・長小・傍陽小・ 本原小	小	・運動会に参加することにより、年長児は学校の様子が分かり、1年生は、一つ上の先輩としての自覚が高まってきた。
9月25日	かりがね祭への参加 3校交流	長小・傍陽小・本原小の6年	小	・中学校の文化祭を見学し来年度入学する中学の様子や雰囲気を感じとり、展示作品やステージ発表を鑑賞することで中学進学への希望と意欲を高めた。 ・小学校3校(本原・長・傍陽)の交流をすることで、安心して進学しようとする気持ちを持った。
		真田中	中	・吹奏楽部の発表や展示作品の見学を案内したり、三校交流会を行ったりした。
10月 11月	交流会	そえひ保年長と傍陽小1、 2、3年	幼 保	・小学校へ出かけ、1年生の発表を聞いたり、学校探検をしたりして校内を知ることができ、学校への期待が大きくなった
		いずみ幼年長と傍陽小1 年 いずみ幼年長と本原小1 年	小	・来入児を招待し日頃の学習の成果をみてもらったり音楽会に参加し音楽に親しんでいただいたり学校の中を案内したりして一緒に遊びながら交流した。 ・傍陽小3年生が、授業で作った劇をそえひ保にて披露し交流を深めた。
11月16日	真田地区学校職員会後 期 人権・地域研修	真田地区小中学校5校 保育園・幼稚園(職員)	小	・真田中学校で授業参観と授業研究会を実施した。 ・授業を通して、人権同和教育の進め方についての研修を深めた。



時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	成 果
1月 2月	来入児 一日入学	すがだいら保・さなだ保・ そえひ保 いずみ幼・他園 来入児	幼 保	・2年生が学校を案内したり一緒に遊んでくれたことで、園児達は、小学校への親しみを持ち入学を楽しみにする気持ちが持てた。
		菅平小・長小・本原小・傍 陽小	小	・自己紹介やゲームをしたり、校舎内の案内をしたりして交流会を行った。
9月29日 1月17日	参観・情報交換・研修	◎傍陽小・真田中・菅平 小中・本原小・長小 ◎さなだ保・いずみ幼・そ えひ保・すがだいら保	幼 保 小 中	・ブロック内各園長、各学校長が授業や保育を参観後、意見交換を行った。
1月27日	スキー交流	長小学校4・5・6年生と菅平中 1,2年	小	・長小学校の練習グループに菅平中学校の児童が加わり、用具の着脱の支援、転倒した際の起き上がり方のアドバイス等インストラクターのアシスタント

## 平成28年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	依田窪南部中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
7月27日	学校のプールに入ってみよう	武石保育園児・職員	保 小学校の大きなプールを体験して、小学校入学への期待を持つことができた。
7月28日	保育園研修会	武石保育園職員・武石小学校職員 ・依田窪南部中職員	小 保育園の先生方の考えを聞いて、児童に対する自分の見方を振り返ることができた。
			中 園児の様子や園の指導方法を理解することができた。
9月23日	先輩を見習おう	・武石小学校6年、職員 ・依田窪南部中生徒、職員	小 文化祭を通して、先輩方の話を聞いて中学に進学する意欲を高められた。
			中 先輩として、中学校の良さを話したり、自分が決めて活動していくことが多くなるなどの話をし、安心して中学に登校してほしいことを伝えられた。
10月21日	音楽を楽しもう	・武石保育園児、職員 ・武石小学校全児童	保 音楽会を通し、小学校への不安感をやわらげられた。
			小 先輩として、合唱や合奏を通して、小学校の良さや楽しさを伝えられた。
2月6日	一緒に遊ぼう	・武石保育園年長 ・武石小学校1年・5年	保 1年生・5年生と交流することで、小学校へ入学することへ意欲を高められた。
			小 来入児と関わりながら 1年生は小学校の先輩としての気持ちを育て、5年生は来年度姉妹学級として活動するためのきっかけとすることができた。